

マキノ病院ニュース

第111号

— 令和2年4月1日発行 —

院長就任1年が経ちました

院長 西村 彰一

新年度となり新たな気持ちで4月を迎えられた方も多いのではないのでしょうか。昨年4月に院長に就任し早一年が過ぎました。この一年で感じたこと、新年度の抱負を述べたいと思います。

約20年前にマキノ病院に4年間勤めておりましたが、この時と比べ高島地域は急速に少子高齢化が進んでおり、医療体制が大きく変化していることを赴任して直ぐに強く感じました。マキノ病院の役割も急性期から慢性期、更には介護・福祉分野にまで対応しており高島市北部の地域包括ケアシステムを支える中心的な役割を担っていることを実感するとともに、さらに充実を図る必要性を感じました。

前任の病院では専ら急性期の医療を行っていたため慢性期の医療には疎いところがありました。この一年で地域医療の在り方を多く学ばせていただきました。この経験を踏まえて今年度は更に地域医療に貢献できるよう、特に在宅医療の充実を図りたいと考えております。

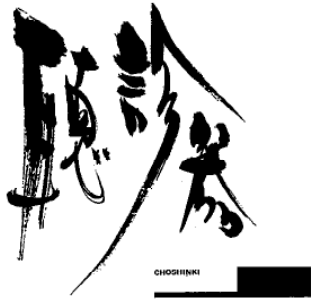
医療・介護の2025年問題を「ご存じの方も多いとは思いますが、この年、団塊の世代が後期高齢者となり、5人に1人が75歳という超高齢社会が到来します。このため、国は2014年に「医療介護総合推進法」を施行、地域特性を考慮した医療構想が策定されま

した。その中で、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を国は推進しています。医療構想に基づき、当院もこれまで急性期病床以外に医療療養型病床（慢性期）、地域包括ケア病床（回復期）の病床整備を進めるとともに、訪問看護ステーション、小規模多機能居宅介護事業（はびねすマキノ）、デイケアセンターを整備してまいりました。更に訪問診療を昨年7月より開始しましたが、まだ十分に対応できていない状態です。地域には高齢の方も多く通院が困難な患者様が今後更に多くなり、在宅医療のニーズが急速

に高まって来ると考えております。訪問診療、訪問看護、訪問リハビリに対応できることが当院の強みでもあり、病院での医療と在宅医療をスムーズにつなぎ、地域の皆様が安心できる環境を整えていきたいと考えております。

この4月より内科常勤医として林修平先生を迎え常勤医は1名増員し9名となります。しかし、依然少人数であり、すべての急性期医療を当院のみで完結するのは困難な状況です。高次の医療機関と連携し急性期医療を支える一方、回復期から慢性期の患者様は可能な限り受け入れ、高島市北部の地域包括ケアシステムを支える中心的な役割を果たすべく職員一同、更に努力を行っていきたく思っております。今後とも皆様方のご支援をお願い申し上げます。

ドクターコーナー



マキノ病院では、水曜日午前泌尿器外来を行っています。木之本の長浜市立湖北病院から泌尿器科医2名（納谷・中尾）が交代で派遣・勤務しています。

この湖西地域には泌尿器科医が少なく、常勤医師は高島病院と今津病院にいますが、今津病院は腎不全患者の血液透析が主体で泌尿器科外来は週1回木曜日のみとなっています。安曇川に林田医院があ

『夜間頻尿』について

泌尿器科 納谷 佳男

前立腺癌に対する薬物治療と、超音波やCTによる画像診断を中心に治療を行っています。

当科に受診される患者さんで最も多い訴えは、夜間頻尿です。今回は、夜間頻尿についてお話ししたいと思います。正常であれば、夜間睡眠中には排尿で覚醒しません。したがっ

りますが、マキノの周辺で泌尿器科疾患の入院・手術加療が出来るのは、湖北病院と高島病院の2施設に限られます。当院では手術が必要な症例は、湖北又は高島病院、または大津赤十字病院や大津市民病院、滋賀医大に紹介を行っています。当科では排尿障害や尿路結石、

て睡眠中に1回でもトイレに起きる方は夜間頻尿ということになります。ただし、トイレに起きてもぐっすり眠れる方は治療は必要ありません。大抵は2回以上起きる方が治療の対象になります。夜間頻尿があると睡眠不足から転倒のリスクが増えます。転倒することで大腿

増えることとなります。もう一つや真の夜間頻尿で、前立腺肥大症や過活動膀胱において最も困る症状の一つです。夜間頻尿を訴える患者さんの多くは夜間多尿です。夜間の1回排尿量が昼間と同じか多い場合は夜間多尿、少ない場合は夜間頻尿の可能性が高くなります。これをきちんと見分けるために排尿日誌を記録していただき、夜間尿量及び夜間多尿の治療は水分制限が主になります。心筋梗塞や脳梗塞などの脳血管イベントの予防に水分を摂ることは必要ですが、夕方から夜間にかけて水分を多く取ると夜間多尿の原因になります。脳血管イベントの予防には

夜間頻尿には大きく分けて2つのタイプがあります。一つは夜間多尿で、夜間の尿量が多いため回数も

りません。また、夕食に塩分をたくさん取ると血圧が上昇し、血圧を下げるために腎臓はナトリウムを排泄させるために尿をたくさん作る必要に迫られますので、夜間多尿になります。水分と塩分の制限がとても大切です。1回排尿量の少ない夜間頻尿には、膀胱を広げる内服薬を使用しますが、多くは睡眠障害による夜間覚醒も合併しているため、睡眠剤の併用が必要になることがしばしばです。

夜のおしっこでお困りの方はどうぞ当科にご相談ください。



診療科のご案内
 内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科
 肛門外科・泌尿器科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
 【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
 平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
 滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
 ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>